

12月定例会

P2~3 12月補正予算・条例改正

P4 臨時議会・視察報告

P5 請願・陳情審査

P6~13 一般質問 7人の議員 村政を問う

P14~15 ぎかい懇談会を開催

P16~17 村民インタビュー
若手消防団員のみなさん

夢にむかって
はばたこう



議会ひえづが
ご覧になれます

令和6年

10月をめざす

コンビニで印鑑証明の取得可能に

議案第35号 日吉津村印鑑条例の一部を改正する条例

概要 要：個人番号カードを保有する者からの申請に基づき、スマートフォンを用いてコンビニ等に設置されている多機能端末機から印鑑登録証明書を取得できるようにする。

理由 由：デジタル社会の形成を図るための関係法律の一部改正による。

施行期日：令和6年3月1日から施行

可決

議案第36号 日吉津村国民健康保険税条例の一部を改正する条例

概要 要：①出産予定日または出産日の属する月の前月から、出産予定日または出産日の属する月の翌々月までの4カ月間の所得割額、均等割額を免除。

②双子などの多胎妊娠の場合は、出産予定日または出産日の属する月の3ヶ月前から出産予定日または出産日の属する月の翌々月までの6ヶ月間の所得割額、均等割額を免除。

※令和6年1月以降の保険税が対象

理由 由：子育て世代の負担軽減、次世代育成支援の観点から、国民健康保険被保険者で出産される方の出産前後一定期間の国民健康保険税を減税する。

施行期日：令和6年1月1日から施行

可決

議案第37号 日吉津村手数料徴収条例の一部を改正する条例

概要 要：第5号施行に伴い、手数料を徴収する事務として追加されるもの

①戸籍謄本等の広域交付

・戸籍証明書 1通 450円

・除籍証明書 1通 750円

②戸籍（除籍）電子証明書提供用識別符号の発行

・戸籍電子証明書提供用識別符号 1件 400円

・除籍電子証明書提供用識別符号 1件 700円

③届書等情報内容証明書の交付・閲覧

理由 由：戸籍法の一部を改正する法律附則第1条第5号に掲げる規定の施行等に伴う政令の改正によるもの。

施行期日：令和6年3月1日から施行

可決

12月
定例会

12月定例会は、12月5日開会し、15日に閉会しました。
条例の一部改正3件・補正予算2件は全会一致で可決、補正予算1件には修正動議が提出されましたが賛成多数により可決しました。
また、請願・陳情4件のうち2件を採択しました。

こども園保育室の増設

●賛否の分かれた議案

議案第38号 一般会計補正予算(第5回) …… **2億944万円**

「主な歳入」

- (村債) 保育所施設整備事業債 **13,560万円**
- 地方交付税交付金 **2,000万円**
- 社会保障、税番号制度システム整備費補助金 **770万円**
- 新型コロナ臨時感染症対応交付金 **585万円**

「主な歳出」

- ひえづこども園保育室等整備工事 **27,130万円**
- 物価高騰対策商品券事業負担金 **1,084万円**

複合型子育て拠点施設整備事業

事業の目的：ひえづこども園の入園希望者の増加見込により保育室が不足するため、既存建物西側に保育室2室を整備する。現在、定員140名、次年度利用入園希望者144名の予定があり、今後益々増加する見込み。【5年度】実施設計の完了・本工事の発注【6年度】保育室建設(令和6年10月供用開始予定)

※議案第38号について修正動議提出【発議者 前田・橋井議員】

発議第2号 一般会計補正予算(第5回) に対する修正動議について

提案理由：前田 昇 議員 昨年9月に開館したばかりのミライトひえづに多額の予算を補正(増額)して保育室を増設することは、多くの点で問題ある対応である。あらためて計画を精査し、関係者と協議の上、検討されるべきである。

●討論

反対

加藤 修 議員 増設の理由、建設に関する詳細説明も理解でき、村の活性化・人口増加に期待する。

賛成

江田加代 議員 園庭が削られることに痛みを感じる。専門家の意見を聞き、より良い施設を作ること。

橋井満義 議員 村民負担を認識し、拙速な事業計画と予算化を冷静に判断すべき。

●採決

賛成4(前田・橋井・江田・齊田議員)：反対4(加藤・松田・河中・長谷川議員)

賛成／反対同数のため …… 山路議長裁決(反対)5

修正動議否決

一般会計補正予算(第5回)

可決

議案第39号

国民健康保険事業勘定特別会計
補正予算

131万円

可決

議案第40号

後期高齢者医療特別会計
補正予算

17万円

可決



▲こども園の増設予定地

臨時議会

(11月28日)

一般会計補正予算

電力・ガス・食料品などの高騰 重点支援給付金を支給

〔主な補正〕

未納付源泉所得

補償、補填、賠償金

20万9千円

事業の内容

松江税務署の税務調査により、源泉所得課税対象者についての認識誤りが判明し、未納付源泉所得税・延滞税・納付加算税が発生したため。

エアコン等光熱費

助成金

120万円

事業の内容

これまで非課税世帯に1世帯当たり1万5千円の扶助費を計上していたが、今回、住民税均等割のみ課税世帯を対象に拡大して、1世帯当たり1万5千円の扶助を行うための増額。

電力・ガス・食料品等

価格高騰重点支援給付金

1818万円

事業の内容

低所得者に対する臨時給付金で、令和5年度の住民税非課税世帯及び住民税均等割のみ課税される世帯に7万円の扶助費の増額。

条例の一部改正

〔村職員の給与に関する条例〕

令和5年の人事院勧告により、本村の職員の月例給与及び期末・勤勉手当を引き上げる。

〔村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例〕

令和6年度から勤勉手当の支給が可能となった。

※すべて全会一致で可決・成立しました。

視察報告

令和5年11月8日～10日

総務経済常任委員会

視察先

- ①岡山県早島町役場
- ②高知県安田川清流キャンプ場
- ③高知県馬路村役場他

考察

- ①早島町は住宅団地も充足人口も微増、将来の都市像を検討している。
- ②安田川清流キャンプ場は、アウトドアメーカーなどに委託・運営している。
- ③馬路村農協を中心に柚子の産地化がはかられた。



▲馬路村柚子加工場

令和5年10月17日～19日
教育民生常任委員会

視察先

- ①泉南市りんくう公園
- ②大阪市聖愛園
- ③加西市パパマオフィス

考察

- ①泉南りんくう公園は、民間資金で開発され障がいのある子どもにも遊びやすい公園であった。
- ②障がい児共同保育に50年以上取り組んでいる民間こども園である。
- ③子どもが遊び学べる施設と保護者が仕事のできるテレワークスペースなどが併設されている。



▲泉南市りんくう公園

一般質問

村政を問う

7人の議員が
質問しました。

12月6日(水)

議員	ページ	質問事項
松田 悦郎	7	1. AED屋外設置の考えは 2. ヴィレステ付近の安全対策を
斉田 光門	8	1. ミライトひえづの現況は 2. 高齢化対策の現況は
河中 博子	9	1. 人材育成の成果はあるか 2. 海浜エリア活性化の現状は
長谷川康弘	10	1. 農業の将来像をどう考えるか 2. 海浜エリアはどうなるのか
前田 昇	11	1. 国道431号沿線の開発と交通対策は 2. 役場の機構改革と人員配置が必要 3. 带状疱疹のワクチン接種支援を
石原 浩明	12	1. 防災減災の取り組みについて 2. 日野川右岸道路完成後の周辺部整備
江田 加代	13	1. 老人福祉法にそった高齢者施策を



松田悦郎 議員

AED屋外設置の考えは

村長 一つの有効手段であると考えてる



▲何台か屋外設置を検討すべきだ

Q

AEDの使用率は全国的に低いですが、その原因の一つは、すぐに使用できる場所がないことと言われている。

隣家が近い富吉・下口・海川の公民館に屋外設置を考えてはどうか。

A

村長 役場庁舎やヴィレステひえづの公

共施設などに8カ所、自治会公民館・集会所に9カ所設置してある。

公共施設のAEDは緊急時には持ち出して使用していただくようにしている。

海浜運動公園は管理棟のトイレ近くに設置してある。

各自治会公民館は鍵を持っておられる方に連絡を取り、持ち出し

が可能である。

一方で盗難やいたずら等防犯上のリスクをさけ、雨、風、気温の変化など保管環境を維持するため屋内設置している。

しかし、自治会公民館の3カ所に屋外設置することも一つの有効手段である。

自治会長と相談し、検討したい。

ヴィレステ付近の

安全対策を

村長 防犯カメラ1台の仮設置を検討している

Q

ヴィレステひえづは人気の施設である。

車での来館も多く、

利用者の安全を守るため、次の質問をする。

①ヴィレステ入口道路だけをカラー舗装にしたい。

②ヴィレステ付近に防犯カメラの設置を。

A

村長

①ヴィレステ

前の道路については、鳥取県公安委員会と協議をし、「ゾーン30」の導入検討している。

これは、生活道路における歩行者や自転車の安全な通行を確保するために、区域を定めて30kmの速度規制をするものである。

②米子地区防犯協議会の事業を活用し、ヴィレステひえづに防犯カメラ1台の仮設置を検討している。

この本設置には、取扱いを定めた要綱などを整備する必要があるため、あわせて検討を進めたい。



▲事故のないヴィレステ付近となるのか



齊田光門 議員

ミライトひえづの現況は

村長 出産から子育てまで

きめ細かな支援を提供する

Q ①とっとり出
会いサポートセ
ンター「えんトリ
ー」の窓口の開
設。

- ②年間出生数の推移は。
- ③施設間の連携は。
- ④定住促進に影響があるか。

⑤人口増加と今後の課題。

A 村長

①とっとり出
会いサポートセン
ター「えんトリ
ー」の窓口
が県内3カ所にある。
本村は総合政策課に相



▲開設から1年 ミライトひえづ

談窓口を設置している。
②出生数は、元年度36
名、2年度39名、3年
度29名、4年度27名
5年度10月末15名。
③ミライトひえづ内に
総括室を設置しており、
子育て支援センターの
職員がこども園の保育
に入ったり、互いに支
援している。また、ヴ
ィステひえづとの連携
事業にも取り組んでい
る。
④子育て世代の人口が
増加し、子育て世帯等
の応援補助金の申請件
数が年々増加している。
⑤課題は、建築可能な
土地の掘り起こしや空
家の利用をすすめるこ
と。

こども園の来年度入
園希望が多く、今12月
議会に増設の予算を提
案している。全国的な
課題である少子化状況
を反転させ、人口増加
につながるよう、本村
が地域をリードしたい。

高齢化対策の現況は

村長 広域連合と協力し
介護保険制度を運営する

Q

①行政による
見守りサービス
の強化。
②地域包括センターの
活用は。
③介護（介護予防）サ
ービスの活用は。
④高齢者ふれあいセン
ターの開設を。

A

村長

①各自治会の
民生児童委員、社協の
職員、福祉推進員が高
齢者世帯の訪問活動を
している。
②高齢者に対する相談
支援を中心に令和4年
度185件、要支援者
のケアプラン30件の対
応をした。
③認定者数は要介護1
47人、要支援33人合
計180人で、認定率
は高齢者全体の17・
2%である。
介護サービスの利用
者数は延べ1311人、
全体費用額は約3億2
200万円（令和4年
度）である。
④高齢者ふれあいセン
ターにかわるものとし
て、来年度、村福祉セ
ンターのロビーを活用
した村民の居場所作り
を検討する。高齢者に
限らず集える場所とし
て、孤立対策を行う。



▲介護の拠点、村デイサービスセンター



河中博子 議員

人材育成の成果はあるか

村長 力を入れて取り組んでいる



▲組織に必要な人材育成を

Q

組織に必要な人材育成の取り組みで、どのような成果・変化がみられるか。

A

村長

西部7町村共同の人材育成は、それぞれの町村の若手職員が合同でテーマを設けて、勉強・研究を行う方法で進めている。職員同士が意見交換をするなかで、大いに刺激を受けながらカリキュラムに取り組んでいる。行政系アドバイザーの研修は、他の自治体の動向や事例などのアドバイスをいただきながら、特に総合計画、自治基本条例にもとづき、職員の意欲向上に繋がるよう進めている。人材育成基本方針については、職員による検討委員会、課題改善方針などおおむね定まってきたので、改定を進めていきたい。

Q

村長はどういうスキルを持った職員を育てたいか。オールラウンドプレイヤーか特定の分野に精通した人か。

A

村長

ゼネラリストかスペシャリストかということでは、各職員からその意向を聞きながら進めているところだが、それぞれに意向がある。

どちらかということではなく、日吉津村役場の組織はコンパクトなので、業務をするなかで経験を積み成長をしながら、しかし一方では、あの人には聞けば分かるという人材は必要なので、人事異動も含めてバランスよく進めていきたい。

Q

サウンドイング調査の結果と方向性、そのタイムリミット、Park PFI構想の進捗はどうか。

A

村長

海浜運動公園の魅力化に向けて、官民連携手法の可能性、

海浜エリア活性化の現状は
公園の魅力化に向けて取り組む



▲海浜エリアとしての公園整備を

民間企業の参入意向などを把握するため、民間事業者との調査委託契約を締結している。現時点では、民間事業者2者とのヒアリングを実施し、前向きな意向も聞いている。この調査については、現在も継続して実施中なので内容については控えるが、今後10者程度を予定して調査研究を進める。



長谷川康弘 議員

農業の将来像をどう考えるか

村長 地域計画を策定し支援していく

Q 村の農業を取り巻く環境は、農業従事者の高齢化、後継者不足、遊休農地の増加など依然厳しい状況が続いている。

村は、がんばる農家プラン事業、がんばる

地域プラン事業などの支援をおこなっているが、成果はどうか。

担い手不足、農地集約化などの課題解決の考えと、村農業の将来像は。

A 村長

後継者不足や遊休農地の増加など、農業を取り巻く環境は依然厳しいと認識している。

地域農業を持続可能なものとするためには、村の強みである地域のつながりと、顔の見える関係を活かし、村民ぐるみの協働で取り組みを進めることが重要と考える。

村は、農業委員会、再生協議会などの関係機関とも連携し、ソフト・ハード両面でさまざまな事業に取り組んでいる。

農業を次世代に引き継ぐため、目指すべき

将来の農地利用の姿を明確にする地域計画を来年度中に策定し、担い手の確保育成に努め、農業者の支援をおこなっていききたい。

海浜エリアは どうなるか

村長 調査研究し 活性化を進める

Q

海浜エリアについて、指定管理を含めた整備、官民連携手法の可能性調査を検討するとのことだったが、その後の状況は。また、海浜エリア活性化計画の中で、すでに取り組んだことはあるか。

A 村長

現在、2事業者との対面ヒアリングや、国の支援事業を調べている段階である。

活性化計画の中では、遊歩道の再整備、駐車場の鎖撤去など、多目的広場周辺の維持管理、芝生広場の維持管理、東屋の補修などさまざまな事業をおこなった。

また、海岸管理道の



▲整備された遊歩道

補修や、護岸へのスロープ設置についても管理者の県と協議している。

このような取り組みや、できることを進めながら、引き続き民間事業者へのサウンディング調査をおこない、海浜エリアの活性化への調査研究を進めたいと考えている。



▲村農業の将来像は



前田 昇 議員

国道431号沿線の開発と交通対策は

村長 県公安委員会等と協議している



▲ラーメン店など、すでに開店

Q 富吉北の開発
に対する交通対
策や、営業時間などへ
の村民の関心や不安感
は強い。どのような対
策が取られているか。

A 村長
周辺における
安全対策は、県の公安
委員会と協議し、営業
時間の短縮については、
村の意見書を県に提出
している。

Q ホームセン
ターは朝7時開
店、スーパーは24時間
営業の予定。開店後の
トラブルを解決するた
めの窓口・道筋をつけ
ておくべきだ。

A 総合政策課長
それぞれ、丁
寧に対応していく。

Q この機会に、
村全体の道路環
境や交通対策を見直す
べきでは。

A 村長
日野川右岸道
路なども含め全村的に
見直し、検討をしてい
きたい。

役場の機構改革と
人員配置が必要
村長 ミライト全体の
配置など考えたい

Q 以前から、児
童館への正規ス
タッフ配置を求めている。
現在のスタッフも
頑張っていたいてい
るが、運営は大変なの
では。

A 村長
ミライトの総
括室が加わり、応援体
制が整えられている。

Q ヴィレステは、
えづの所管は、
現在の総務課から教育
委員会へ移したらどう
か。

A 村長
ヴィレステは、



▲保育室増設に、スタッフの増員が必要

多岐にわたる取り組み
の拠点であり、従来か
ら総務課が所管し関係
課で連携している。ど
のような形が効果的か
検討してみたい。

带状疱疹の
ワクチン接種支援を
村長 国の動向を注視
して検討する

Q 80歳までに3
分の1の人が感
染し、50歳以上の方は

症状が重くなるとのこ
とで、ワクチン接種が
すすめられているが、
本村の状況はどうか。

A 村長
状況把握はで
きていない。このワク
チンは任意接種であり、
助成等は行っていない。
接種料金は1回2万
円で2回必要。日野郡
の2町では1回あたり
1万5千円を助成して
いる。今後、国の動向
を見極めて検討したい。



石原浩明 議員

防災減災の取り組みについて

村長 風水害想定との訓練に一定の成果

Q 防災減災の取り組みについて

①令和5年度の防災訓練の評価と課題。
②令和4年度に行われた医療的ケア児等避難訓練の成果は。

③一時避難所で振り分けを行うのではなく、福祉避難所を一時避難所として開設することが必要ではないか。
④避難行動要支援者の名簿は、実態に合わせ、改定されるべきで

はないか。

⑤個人情報保護法の改正により、平時の避難行動要支援者の名簿の取り扱いがでなくな

る。村の条例制定の見通しは。
⑥防災減災のためには、小地域での普段のつき

合いや、見守りが大切と考えるが、コミュニティ支援などの取り組みは。

A

村長

①高齢者等避難や避難指示の発令など、実際に想定した動きを確認することができた。避難所開設やIT無線の使用訓練など個別訓練も実施して

いきたい。
②村の災害対策本部と福祉避難所のやり取りはスムーズにできた。今後、福祉避難所開設運営マニュアルの見直し等を、進めていく必要がある。
③被災状況やニーズを把握し、各自自治会の一時避難所とも連携を図りながら、早期開設をし、直接避難していただく運用も必要になってくると考える。
④要援護者名簿として平成26年度に整備し、定期的に更新を行っている。現在は福祉相談システムにおいて、一元的に管理している。今後は要支援者名簿を

整理し直し、個別避難計画等の作成をしている。
⑤避難行動要支援者自身の防災意識の向上を図ってもらうために、まずは制度説明を行いながら、対象の方の同意をいただくことが、よいのではないかと、取り組みを進めながら、条例制定についても検討していく。
⑥防災倉庫の設置、備



▲防災備品は点検も（下口公民館）

品整備等についての補助を行っている。自治会、自主防災組織の独自研修への協力や、消防団指導による、地下式消火栓を利用した放水訓練を3自治会、9か所で行っている。

このほか、日野川右岸道路の周辺部の整備についても質問しました。



▲防災訓練 本部の様子



江田加代 議員

老人福祉法にそった高齢者施策を

村長 住民福祉の向上が果たすべき役割



▲みんな元気な高齢者

Q

政府は、社会保障制度の見直しについて年末までに結論を出すとしている。見直し案では、高齢期の安心確保は期待できない。老人福祉法の理念を活かした弱者に優しい施策を求める。現在検討中の子育て支援金の財源を後期高齢者医療保険、国民健康保険、社会保険料に上乗せする案についての所

A

見を問う。
村長 少子化は、なんとでもくい止める必要がある。持続可能な社会保障制度を継続していく上で、能力に応じた負担のあり方を検討することは避けて通れないが、国の歳出削減のために、地方自治体や低所得者が負担を求められる場合には、それが正しい方向性か

Q

見極め、国に対してしっかりと意見を述べていきたい。

A

生活保護費受給者の国保、後期高齢者医療保険への加入など国の方針への所見を問う。
村長 見直しはせず、国としての責任を、しっかりと果たしていた

Q

後期高齢者医療の窓口負担、介護サービス利用料の2割負担(案)について。

A

後期高齢者の医療費の原則2割負担は、今回見送られることになったが、原則2割負担を検討するにあたっては、十分な議論が必要と考えている。

Q

次期介護計画から、介護施設の室料相当を保険給付の基本サービス費から除外する見直し(案)について。

A

村長 老健施設、介護医療院、介護療養病床多床室について利用者の負担能力を考慮し、一定の所得を有する多床室の入所者から、室料負担を求めているかどうかの案が示されている。

Q

A

「老人福祉法」は活きているか。
福祉保健課長 今もある。第2条の基本理念に、「健康で安らかな生活を保障されるものとする」と記載されている。

老人福祉法は生きている

1963年公布

老人福祉法第2条(基本理念)

老人は多年にわたり社会の進展に寄与してきた者として、かつ豊富な知識と経験を有する者として、敬愛されるとともに、生きがいを持てる健全で安らかな生活を保障されるものとする。

最終改正 H27. 5.29

老人福祉法第4条(老人福祉増進の責務)

国及び地方公共団体は、老人福祉を増進する責務を有する。

会を開催

11月12日、19日、26日に日吉津上一・海川・今吉・富吉・樽屋各公民館で開催しました。多くのみなさんに参加いただきありがとうございました。いただいたご意見は、行政と共有し、今後の議会活動に活かしたいと思います。

旧うなばら荘

- 現状・今後の方向性は。
- 村民に情報が入ってこない。
- 温泉を活用できないか。
- 解体費を村が負担しないように対策をとってほしい。



▲現在の旧うなばら荘

431号沿線開発について

- 商業施設が出来て交通量の増加が予想されるとき、先に道路拡張が必要。
- 開発に伴い海川周辺にも抜け道通行などの影響がでるのでは。

温泉線から国道431号へ向けて、村道の交通量が多くスピードもだしている。事故が起きないよう対策を。

- もう少し行政が主導すべき。
- 交通安全対策をしつかりと。



▲富吉北側開発予定地

役場線と2号線交差点について

- 信号がついたのは良かったが、工事の詳細が分からなかった。事前にきちんと告知をして欲しい。
- 通勤時間帯は役場線の通行量に対し、2号線の通行量は少ない。一定時間反応式にしては。



▲2号線交差点

ごみ問題について

- 大型ごみを直接搬入できないか。現状ではボランティアもできない。

- イオン東側の川にゴミが多くて汚い。どこが管理するのか。

農業関連について

- 村道3号線の用水路側で雑草が道路まで伸びてきている。管理は役場か農業者か。
- 農地は今後も村民のために活用してほしい。外国資本が入らないようにしてほしい。

子どもの健康や教育に活かすため、無農薬、有機栽培等の生産物を村内で消費するサイクルを作ってほしい。

- 「食の安全」を子育てにひもつけ、子育て先進自治体の価値をさらに高めてほしい。
- 耕作放棄地が多い。対策に条例の提案ができませんかと思うが。
- 通学路に放棄地の木の枝がとび出して、路肩が狭まっている。



▲日吉津上一自治会

役場職員の不祥事について

- 役場の管理体制は機能しているか。
- 議会もしっかりと監視を。

- 滞納者の多さにびつくり。滞納者を減らす対策を。

防災訓練について

- 各自治会の訓練はきちんとできたか。議会として把握しているか。
- 議会の防災マニュアルの見直しは進んでいるか。



▲海川自治会



▲今吉自治会

- 魅力ある日吉津村を作る観点から、村の花チューリップをもっと多く栽培できないか。
- ふれあい通りの役場線から海川までの土手を舗装してほしい。
- 都市計画、開発計画を示してほしい。HPでは字が小さく分からない。
- 新鮮市場の空き店舗が、長い間そのままだが努力をしているのか。

その他の意見



▲富吉自治会



▲樽屋自治会

- ぎかい懇談会を年2回開いてほしい。
- 傍聴の資料について、まとめたものを配布してほしい。
- 本会議だけでなく委員会の予定もHPで告知してほしい。
- 全員協議会をテレビ中継してほしいと要望しているが聞いてもらえない。どんな議論がされているか知りたい。
- 議会だよりはわかりやすく、読んでみたいと思うようになった。

議会に向けて

「村議会モニター」を募集します

村議会には、村民の皆さんの代弁者として、村政・むらづくりにかかわる責務があります。しかし、村民の皆さんからご意見をいただく機会は限られています。

そこで、村議会の活動についてご理解いただき、村民の目線でご意見をいただくために、「村議会モニター」を募集します。

【応募資格】 18歳以上の村民であり、村政に関心をお持ちの方。

【募集人数】 10名程度（任期：令和7年3月までを予定）

【主な活動】 年4回程度、議員も交えた意見交換会を開催します。
適宜、アンケートなどにご回答をいただきます。
* モニターの方の無理のない範囲でご協力いただきます。

【募集期間】 令和6年2月29日まで

【お問合せ】 日吉津村議会事務局 電話0859-27-5957

その他、詳しくは、村のホームページをご覧ください。



みなさん

日吉津村消防団はこの2年間、県消防操法大会において準優勝という成績を収められました。これも普段の訓練の成果であり、日ごろの活動が村民の安心・安全につながっています。出初式の後に、4人の消防団員さんに、インタビューしました。

Q1. 消防団に入ろうとしたきっかけ

山崎さん 知人からの誘いがあったのと、地域に貢献したいと思った。

小河さん 日吉津に帰って貢献したいと思っていて、声をかけられた。

池田さん 村外から帰ってきたときに誘われた。どうせなら地域に貢献したいと思った。

細田さん 村外から移住してきたが、同じ仕事をしている人から声をかけられた。一緒に活動して、少しでも役に立ちたいと思った。

Q2. 消防団での目標や頑張りたいこと

細田さん 操法の大会には何回か出ている。操法以外にも西部広域との連携でできることをしていきたい。

池田さん 自分が入りたてだが、少しでも役に立てるように頑張りたい。

小河さん 安全に過ごせる地域でありたい。そのため、いざというときに動けるようにしたい。



山崎総昭さん

山崎さん 皆が仕事と両立しながら頑張っている。自分は交代制の仕事である。他の団員の少ない時こそ出られることもあるので、住民の安全を継続して守っていききたい。

Q3. ひえづの良いところ、こうなるともっと良くなるというところ

山崎さん 大型商業施設などがあり、人口増は良いと思うが、お互いの顔が見えるという良いところをなくさないようにしてほしい。

小河さん イベントごとが多く、顔見知りになれる。



小河 孝さん

池田さん 「待機児童なし」と聞いていたが、実際にはひえづこども園には入れなかった。イベントの案内などをもらうが、一つのところに入れたらなあ

と思う。

細田さん 「子育てが充実している」ということで、米子から移住してきた。その時には、保育園にすぐ入れたのでよかった。周りの人が、良く声をかけてくれたので、溶け込めた。

Q4. 村や議会についてひとこと

山崎さん 村のヴィジョンを示してほしい。大型店が増えて、人が増えるのは良いが、交通量や安全面をしっかりと、宅地と田畑のバランスを保ってほしい。

と思う。



▲令和6年出初式(ヴィレステひえづ)

村民インタビュー

若手消防団員の



▲放水訓練（日吉津上2）

池田さん 生活道路でもスピードを出す車があり、小さい子どもを育てる親としては心配である。
王子製紙の煙は大丈夫だろうか？



池田晃司さん



細田雅志さん

山崎さん 議会中継を時々見ている。
細田さん 議会報に興味があつてよく見ている。一般質問などは、どこの事かわかるし、何が議題になつているかわかるので、興味を

Q5・議会報や議会中継は見たいですか

細田さん 工場では、定期的に検査をしているので大丈夫と思う。
聞き手 村民にもその情報をしっかり伝えることが、大切ですね。



▲子どもたちへの消防車体験



持って見ている。

消防出初式後のお疲れのところ、ご協力ありがとうございました。地域貢献への思いを感じました。
これからも、村民の安心・安全のため、よろしく願います。

議会のうごき

県町村議会議員研修会

とき 11月22日（水）
ところ 三朝町総合文化ホール

◇講義「地域創生時代の地方議会―議員力の向上をめざす―」

講師 中央大学副学長

磯崎初仁氏

議会は、首長提案を審議するだけでなく、自ら政策を作り出す能力を高める必要があるとお話しいただきました。

◇講義「議会におけるハラスメント」

講師 弁護士 太田雅幸氏

議員同士、議員と職員の間にもハラスメントが発生しています。その防止や対策について具体的な事例をもとにご指導いただきました。



王子製紙との研修会

とき 12月15日（金）
ところ 役場第1・2会議室



年末恒例、王子製紙米子工場の現況について聞く研修会を開催しました。

米子工場では、木材から航空機燃料として活用するエタノールをつくりだす事業に試験的に取り組む計画です。そのため日吉津村地内に工場が増設される見込み。本村としては、将来の税収増が期待され、脱炭素にもつながるプロジェクトであり、今後の動向について注目していきます。

二十歳を祝う会

とき 1月3日（水）
ところ ヴィレステホール

成人年齢が十八歳となったため、成人式ではなく「二十歳を祝う会」となつて2年目。二十歳を迎えた40名の方が出席して開催されました。

また、会場には出席者のご両親の姿もみられ賑やかなムード、中学生サークルが製作したフォトスポットも、お祝いの会を盛り上げました。



編集後記

元日に石川県能登での大地震、2日には羽田空港での日航機と能登救援に向かうとした海上保安庁機の衝突事故と、波乱の年明けでした。能登ではまだ復興の兆しも見通せない状況。同じ日本海側での津波の脅威も感じつつ、あらためて防災減災への意識を強める必要があります。私たち日吉津村民が肝に銘じるためにも、能登への支援に努めなければと思います。

—前田 記—

次回の定例会は
3月です



表紙 二十歳を祝う会

【議会広報広聴常任委員会】

前田 昇・長谷川康弘
斉田 光門・石原 浩明
松田 悦郎